

# 2019年度「北九州市中小企業技術開発振興助成金」

## 採択企業の紹介

北九州市では、市内中小企業の技術開発力の向上及び技術集約型企业への転換を促進するため、中小企業の新製品や新技術の開発を支援する助成金を交付しています。

今年度は審査の結果、5社に助成金を交付することとなりましたので、その開発の概要をご紹介します。

### 【交付企業と開発テーマ】

企業名（五十音順）	開発テーマ
(株)FA サポート	食品用ロボットハンドの開発
小倉合成工業(株)	連続水素化反応装置による新製品 A（アミン化合物）の開発
ジャパンシステムエンジニアリング(株)	全波形取込による超音波 CT システムの開発
(株)陽和	フッ素樹脂【テフロン®】を用いた平面リアクターの開発
(株)ロジコモン	プログラミング教育における評価システムの開発

### 【技術開発の概要】

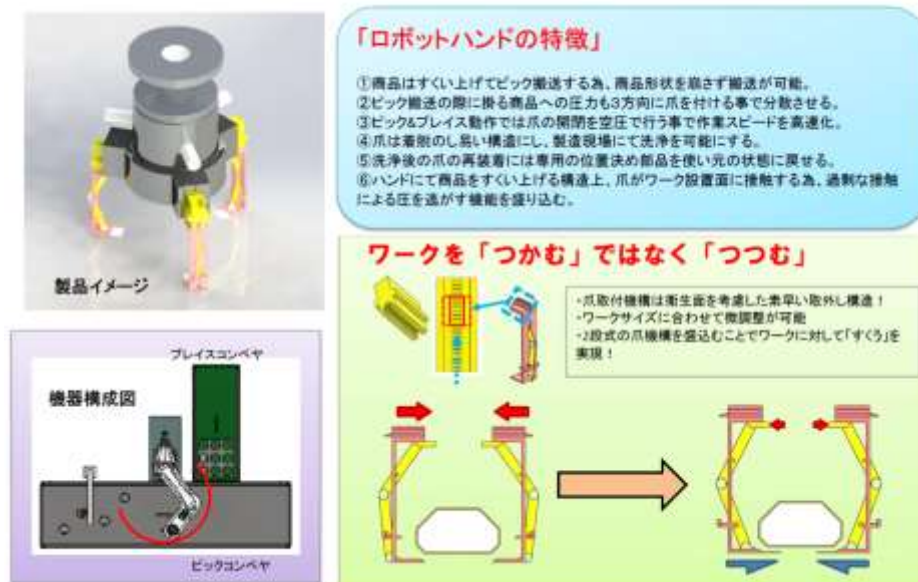
#### 株式会社 FA サポート

〈開発テーマ〉

食品用ロボットハンドの開発

〈開発内容〉

形状を保持しにくいまんじゅうや大福などの食品を、トレイや箱に収納する作業を自動化するためのロボットハンドを開発します。開発するロボットハンドは、大手メーカーのロボットに装着可能な汎用性を持たせることで、トータルコストを抑えることができます。



## 小倉合成工業株式会社

〈開発テーマ〉

連続水素化反応装置による新製品 A（アミン化合物）の開発

〈開発内容〉

フォトレジスト剥離液として使用される新製品 A（アミン化合物）を、連続フロー式の水素化反応装置を使用することにより効率的に製造し、市場に安価で供給します。

### 連続式水素化反応システム



連続フロー式水素化反応の基礎研究を行うため、本装置を導入します。2024 年に実機で量産化を開始し、市場への供給を目標にしています。

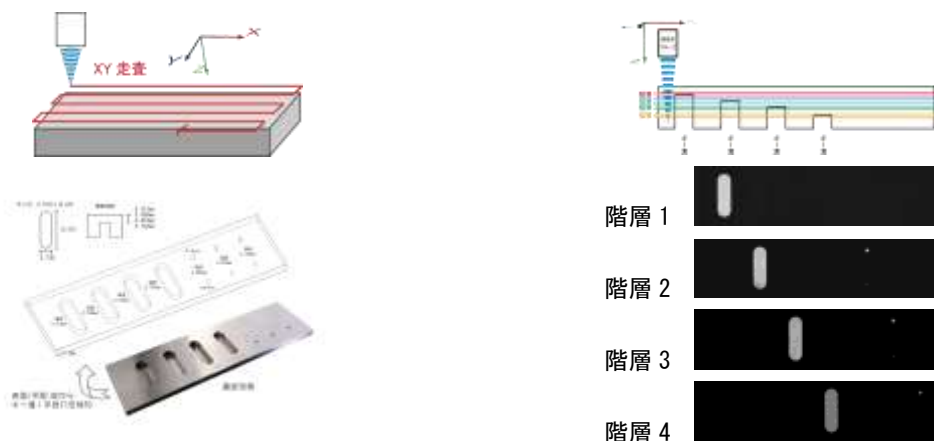
## ジャパンシステムエンジニアリング株式会社

〈開発テーマ〉

全波形取込による超音波 CT システムの開発

〈開発内容〉

被検査体からの取得超音波の全波形保存により、1 度のスキャンで表面から裏面までの全階層の解析が可能となる超音波 CT 検査システムを開発します。本装置により、X 線 CT のように疑似断面カットや 3 次元解析が可能となります。



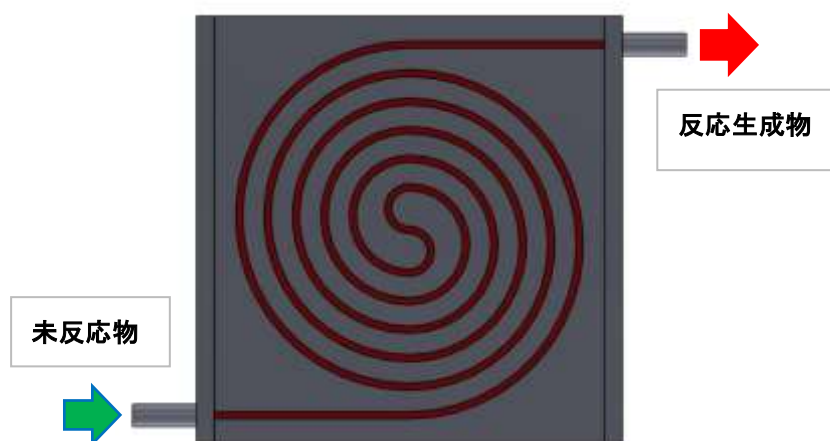
## 株式会社陽和

〈開発テーマ〉

フッ素樹脂【テフロン®】を用いた平面リアクターの開発

〈開発内容〉

化学製品（有機合成化合物）を合成するリアクター（反応器）には、①反応生成物の固着防止（流路の詰まり防止）、②コンパクト化（防爆生・安全性の向上）、③メンテナンス時間の大幅抑制という3つの重要な課題が存在します。これらの課題を解決するため、フッ素樹脂製の平面リアクターを開発し、市場の要求に応えます。



## 株式会社ロジモン

〈開発テーマ〉

プログラミング教育における評価システムの開発

〈開発内容〉

2020年度より小学校でプログラミング教育が必修化されますが、一番の課題としてその評価方法があげられます。そこで、初等教育で主流となっているビジュアルプログラミング言語を用いたプログラミング教育における、学習者の学習過程のログを収集・解析し、学習者の評価を自動で行うシステムを開発します。

